

大学コンソーシアム富山 令和6年度「データサイエンスの実践」実施報告

事業名	大学コンソーシアム富山 令和6年度単位互換開講科目 「データサイエンスの実践」
実施機関名	富山大学 栗本 猛（富山大学教養教育院教授）
趣旨・目的	データを利活用するにあたっては、統計、コンピュータを用いたデータ処理、プログラミング基礎等の知識と技術が重要になる。本授業では必修科目である「情報処理」で学んだ IT 技術をベースとして、それをさらに発展させたデータサイエンスの基礎技術を身につけることを目標とする。
開催日時	令和6年9月2日（月）、9月3日（火）、9月4日（水）
開催場所	富山大学五福キャンパス
参加人数	学生40名 【内訳】・富山大学（38名） ・富山県立大学（1名） ・富山短期大学（1名）

事業内容

●第1日目 (9/2)

第1回 生成系 AI とその利用 (利用における注意, テキスト生成, 画像生成)

第2回 データサイエンスの概念と表計算ソフト を用いたデータ分析 (代表値, ヒストグラム, 箱ひげ図, 散布図, 相関係数, 回帰直線)

●第2日目 (9/3)

第3回 R によるデータ分析-1 (平均, 標準偏差, ヒストグラム)

第4回 R によるデータ分析-2 (散布図, 相関係数, 回帰直線)

第5回 R によるデータ分析-3 (主成分分析, クラスタ分析)

●第3日目 (9/4)

第6回 Python によるデータ分析-1 (平均, 標準偏差, ヒストグラム)

第7回 Python によるデータ分析-1 (散布図, 相関係数, ヒートマップ)

第8回 Python によるデータ分析-2 (主成分分析, クラスタ分析)

講義の様子

